



2023年3月期 決算説明資料

株式会社トーメンデバイス

2023年4月27日

証券コード：2737

<https://www.tomendevices.co.jp/>

本資料に掲載されている株式会社トーマンデバイスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実の要因によっては、大きく変化する可能性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますようお願い申し上げます。

I

2023年3月期 連結決算概況

II

2024年3月期 連結業績見通し

III

中期経営計画

▶ 半導体の特需は一巡し、メモリーを中心とする需要の急激な減速により
前期比減収減益の結果となった

売上高

4,176億円

ご参考

前期実績 ▶

4,628億円

純利益

49億円

ご参考

前期実績 ▶

64億円

配当額

300円

ご参考

前期実績 ▶

300円

ROE

12.0%

ご参考

前期実績 ▶

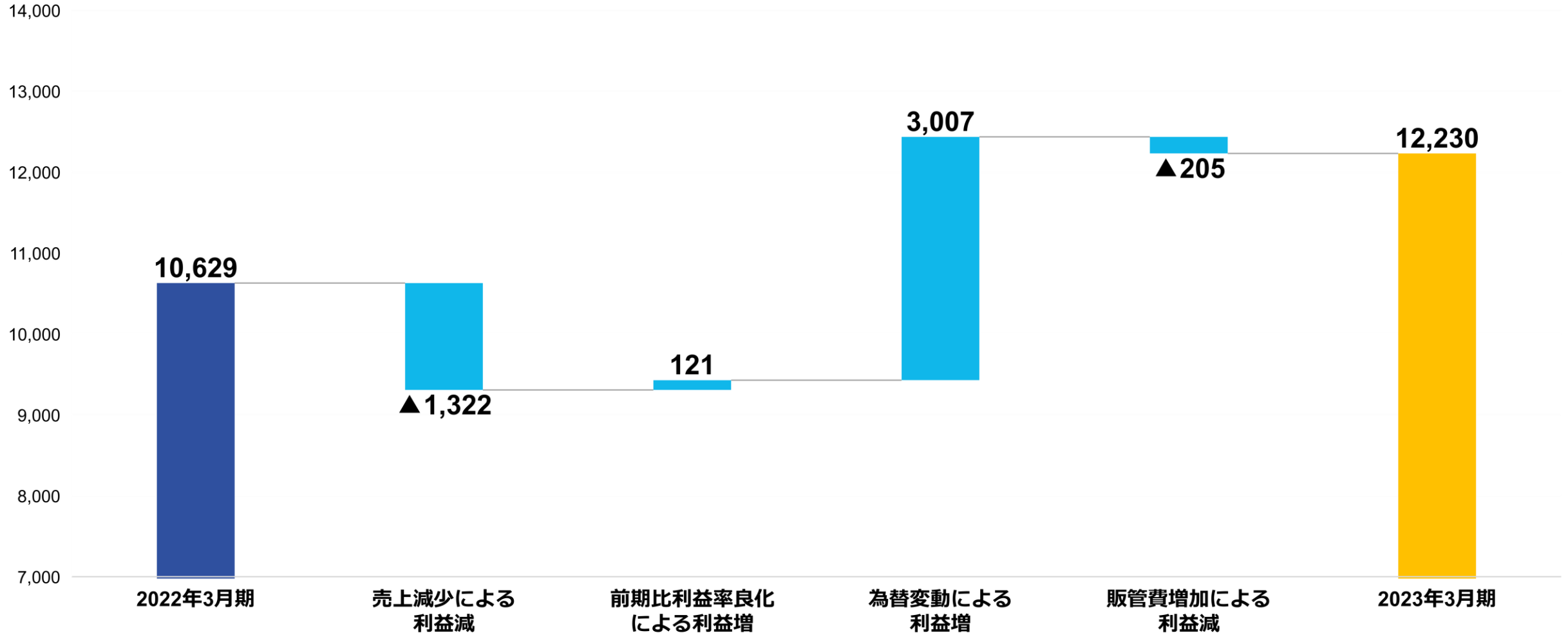
18.0%

- 車載等一部の半導体需要は堅調に推移するも、コンシューマ製品（テレビ、PC、スマートフォン等）は在庫調整が続き販売低調
- 主要取扱製品であるメモリー製品の価格が大幅に下落
- 在庫圧縮による自己資本比率向上

(百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	462,822	417,621	▲45,201	▲9.8%
営業利益	10,629	12,230	1,601	15.1%
経常利益	8,478	6,589	▲1,889	▲22.3%
純利益	6,379	4,906	▲1,473	▲23.1%
1株当たり純利益 (円)	938	721	—	—
総資産	116,990	107,177	—	—
純資産	39,364	44,198	—	—
1株当たり純資産 (円)	5,674	6,354	—	—
自己資本比率	33.0%	40.3%	—	—

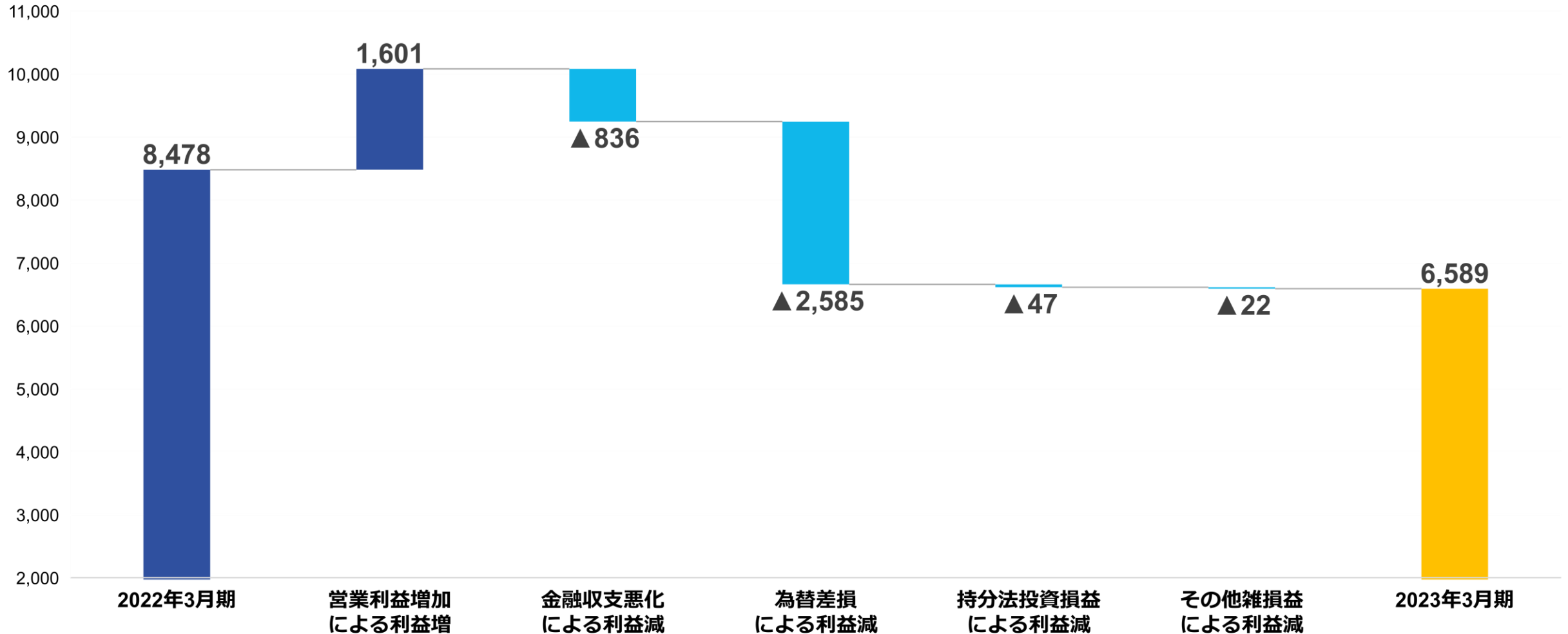
- 為替相場の影響から、売上総利益が増益。
- 価格下落の環境のなか、一定の利益を確保。

(単位：百万円)



■ 為替差損が増加したことから、減益。

(単位：百万円)

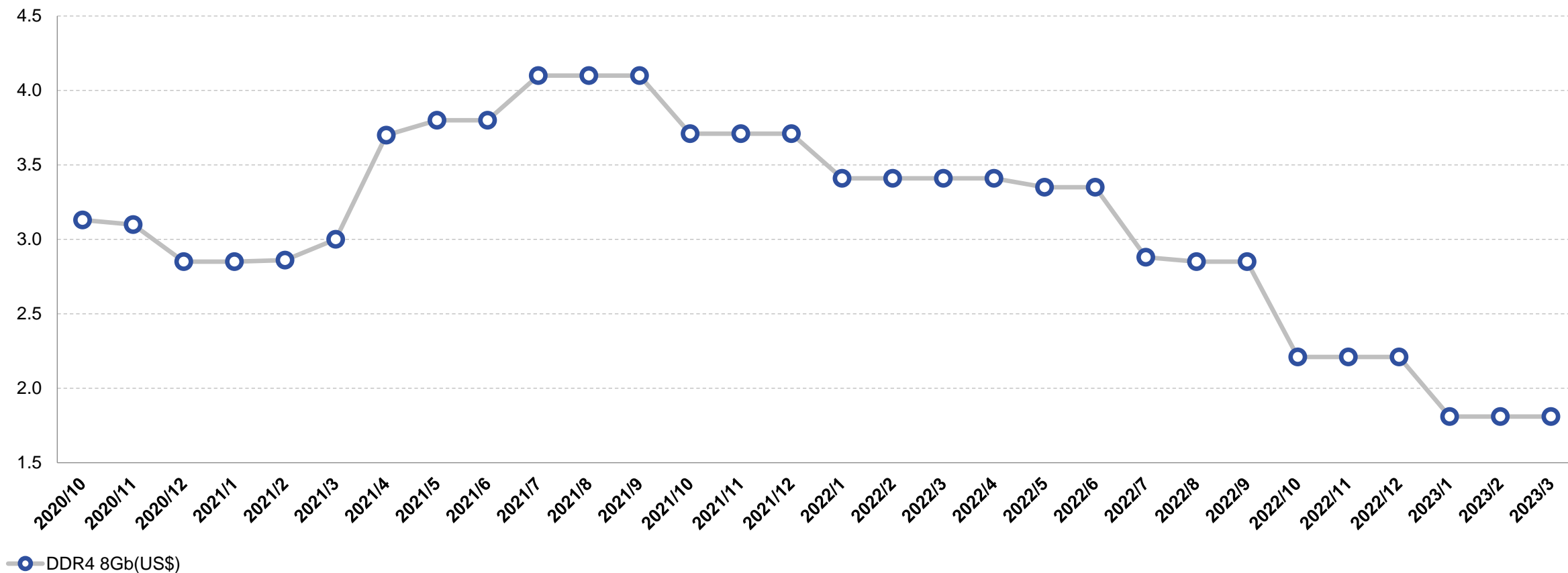


DRAM価格推移（'20年10月～'23年3月）

■ 一般市況

急激な価格下落が継続するも、2023年下期には上昇を期待

(単位：USドル)

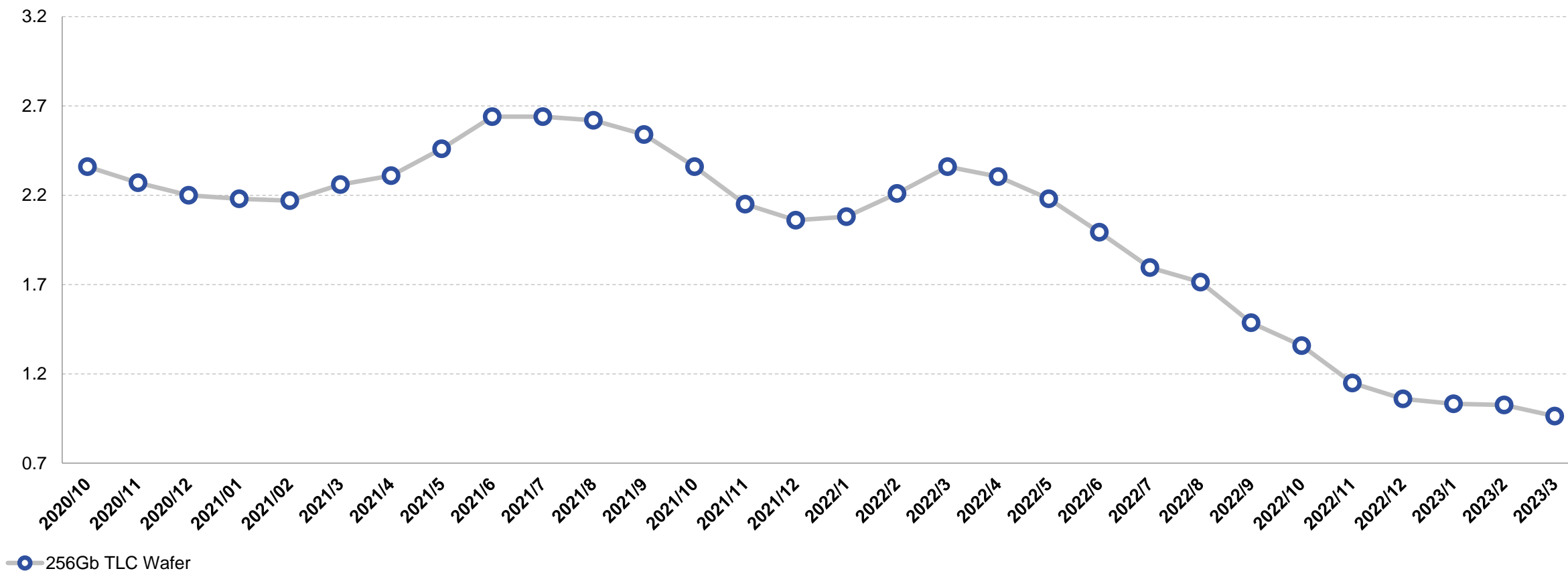


(出所) 各種資料をもとに当社で作成

■ 一般市況

下落が継続するも、CY2Qをボトムとし徐々に上昇を見込む

(単位：USドル)



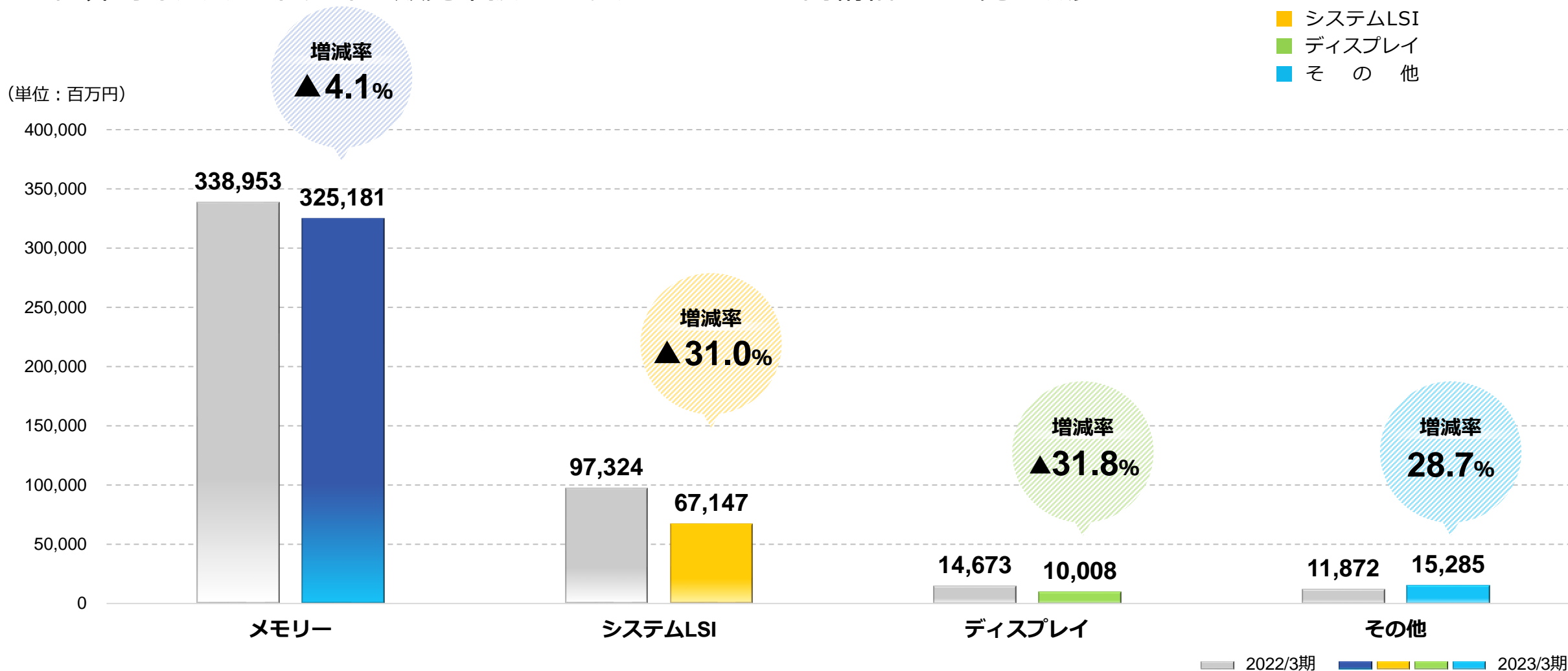
(出所) 各種資料をもとに当社で作成

2023年3月期 商品別 売上高推移

- 一定の販売数確保も、メモリー価格の大幅な下落の影響を受ける
- 世界的なスマートフォン販売不振により、MCPおよび高精細CISの売上減少

- メモリー
- システムLSI
- ディスプレイ
- その他

(単位：百万円)



メモリー

▲4.1%

- データセンター向けにNAND FLASH製品の売上が堅調に推移
- PC向けにDRAM、スマートフォン向けMCPの販売減

システムLSI

▲31.0%

- スマートフォン販売不振により中国市場でCISビジネス大幅減
- 国内市場でFoundryおよびSiPビジネス売上拡大

ディスプレイ

▲31.8%

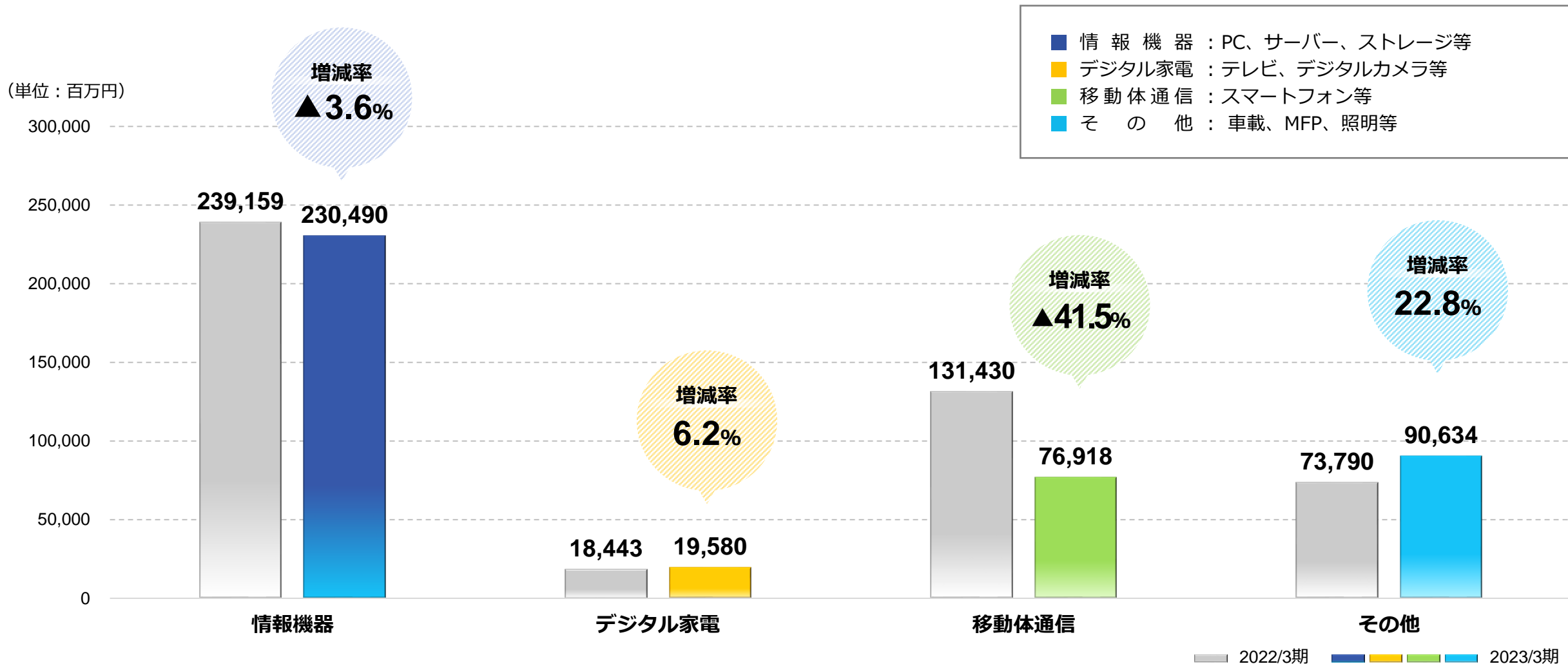
- 国内市場でテレビ・モニター向け液晶パネル減少
- スマートフォン向け有機EL販売減

その他

+28.7%

- 中国市場でテレビ向けバックライト用LEDの売り上げ増加
- 国内市場でバッテリー等の売上減少

■ PC・スマートフォン等コンシューマ向け製品の販売不振により在庫調整が続く



情報機器

▲ **3.6%**

- サーバー・ストレージ向けにNAND FLASH製品の売上が堅調に推移もPC向けDRAMの売上減少

デジタル家電

+6.2%

- 中国市場でTV向けのメモリー売上増加

移動体通信

▲ **41.5%**

- スマートフォン販売不振により、高精細CISの売上減少、MCP、有機ELの販売減

その他

+22.8%

- 車載Biz伸長
- 国内市場でFoundryおよびSiPビジネス売上拡大

I

2023年3月期 連結決算概況

II

2024年3月期 連結業績見通し

III

中期経営計画

販売数量増加も価格下落の影響およびスマートフォン等のコンシューマ市場の低迷は継続し、車載向け半導体製品を除き、全ての品目にて減収減益の厳しい環境となる見込み。

(百万円)	2023年3月期		2024年3月期		対前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	417,621	100.0%	370,000	100.0%	▲47,621	▲11.4%
メモリー	325,181	77.9%	293,156	79.2%	▲32,025	▲9.8%
システムLSI	67,147	16.1%	56,587	15.3%	▲10,560	▲15.7%
ディスプレイ	10,008	2.4%	8,261	2.2%	▲1,747	▲17.5%
その他	15,285	3.7%	11,996	3.2%	▲3,289	▲21.5%
営業利益	12,230	2.9%	7,000	1.9%	▲5,230	▲42.8%
経常利益	6,589	1.6%	5,500	1.5%	▲1,089	▲16.5%
純利益	4,906	1.2%	4,000	1.1%	▲906	▲18.5%



サーバー・ストレージ向け
NAND FLASHの拡販継続

車載Biz販売促進

Foundry/ASIC Biz拡大



アジア市場での
マーケットシェア拡大

車載ビジネス拡大



リスクマネジメントの徹底

中計PJの加速

①マーケティング活動②DX2.0推進③人材育成

メモリー

- NAND市場の拡大、新規ビジネス獲得
- 日系・アジア市場への車載D/I強化

システムLSI・ Foundry

- 技術サポート強化による顧客拡大
- Foundry拡大

ディスプレイ

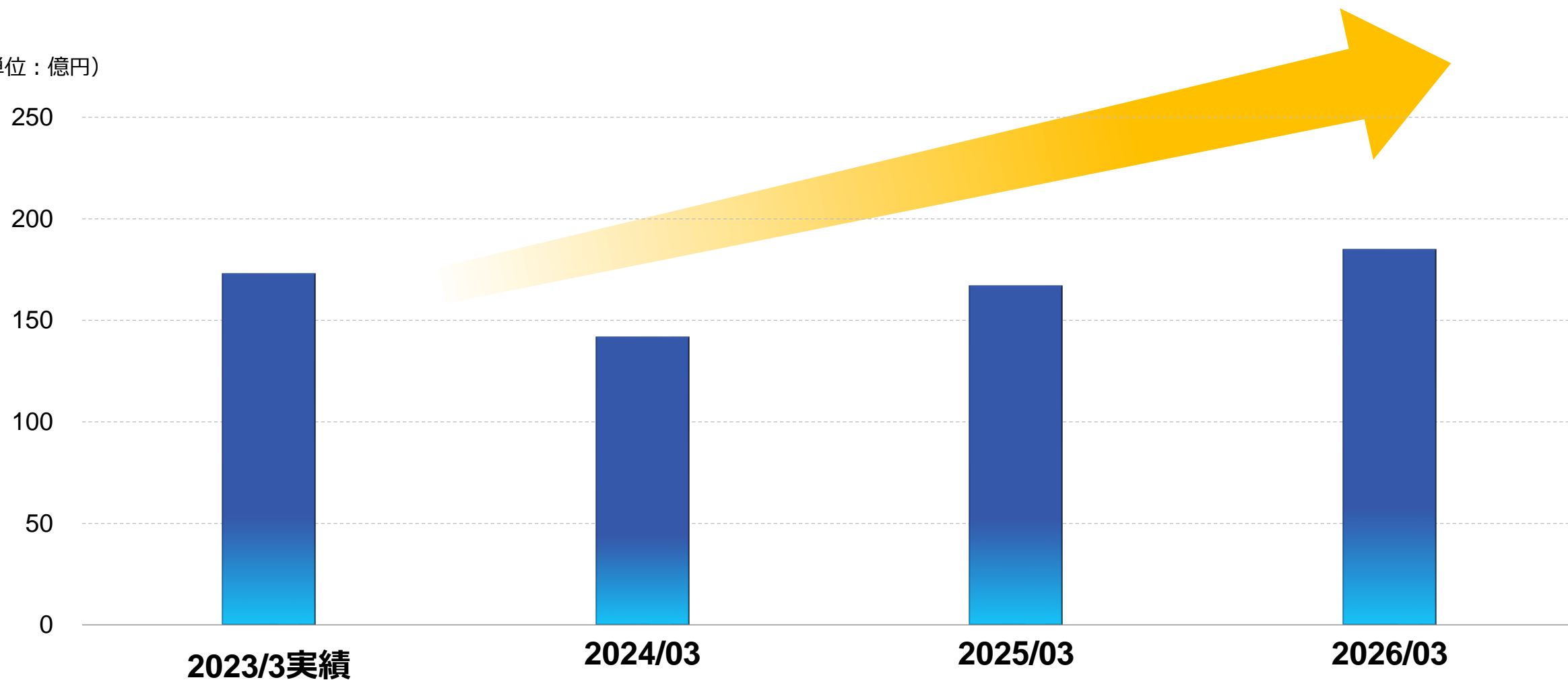
- 有機EL採用に向けD/I
- 車載向けプロモーション強化

その他

- 新規商材発掘、選定

- サーバー需要の下振れ、価格の下落が響き売上計画を下方修正

(単位：億円)



- メモリーは順調にD/I獲得・進行、ビジネス拡大
- メモリー以外の商材は引き続き提案、種まき

System LSI

ナビ・コックピット、AD/ADAS
カメラシステム向け強化
(Application Processor、Image Sensor)

有機EL

ナビ・コックピット向けに
プロモーション強化

車載関係

LED

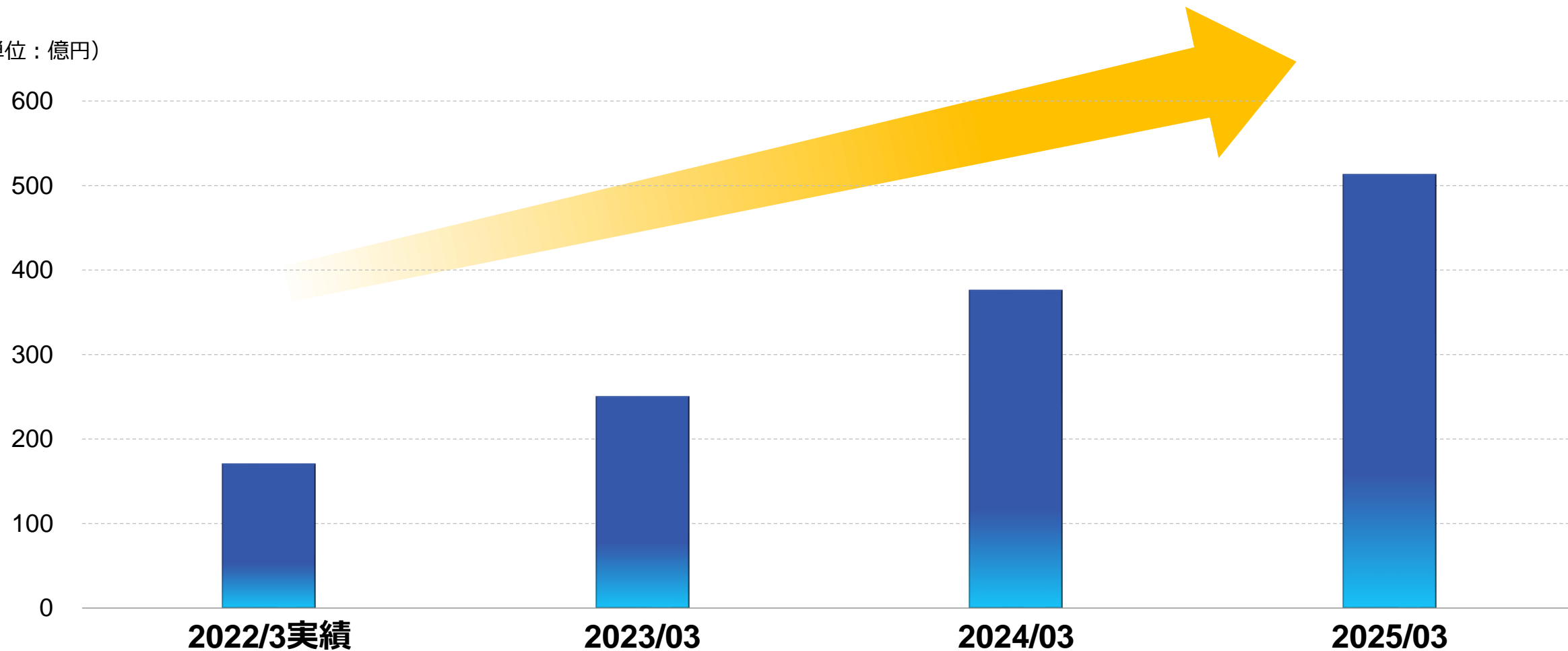
ランプ・インテリア照明向けに
プロモーション

MLCC

電動化、AD/ADAS向けに
拡販推進

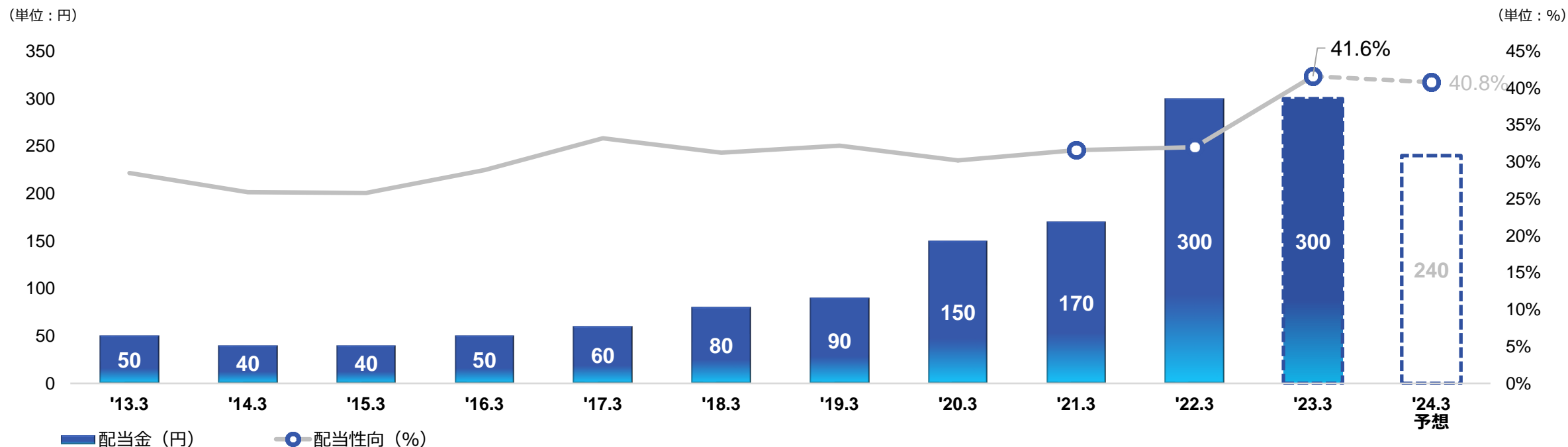
- 車載用商材を拡充し市場を開拓
- 品質対応および海外サポートの体制整備

(単位：億円)



配当方針

- 連結業績に応じた業績連動型の配当
- 安定的な配当の継続を目指し、配当性向の引き上げを図っていく
- 経済環境の変化と資金需要等を勘案し柔軟に対処
- 内部留保は、激変する経済環境下における経営基盤の強化、事業拡大に伴う資金需要への充当および財務体質の強化に活用





中期経営計画

株式会社トーメンデバイス

2023年4月27日

証券コード：2737

<https://www.tomendevices.co.jp/>

中期経営計画策定にあたり、当社のMISSION、VISION、MATERIALITYの関係性を整理しました。これにより、当社が社会的責任を果たしながら持続的な成長を目指すためのロードマップが明確化され、経営戦略の実行を加速することにつながると考えています。

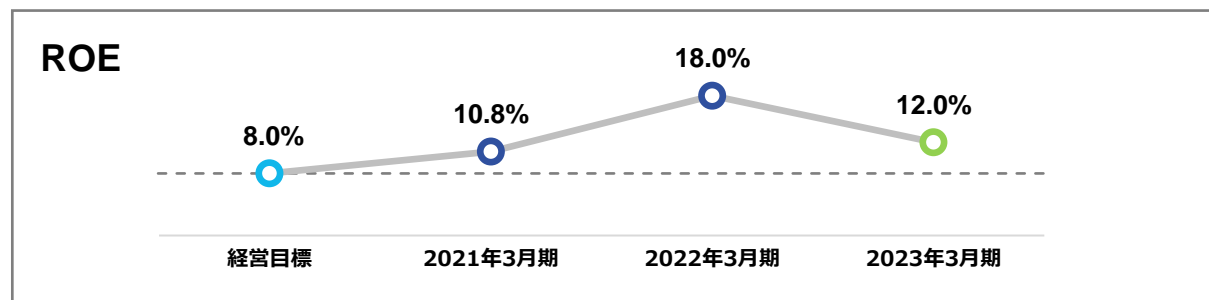
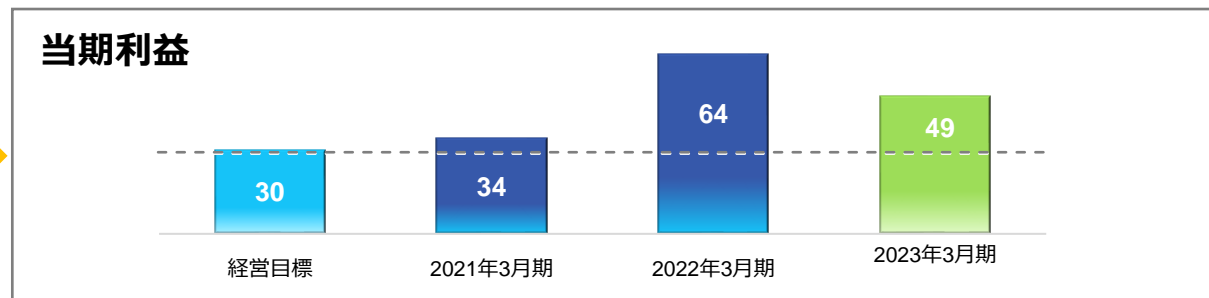
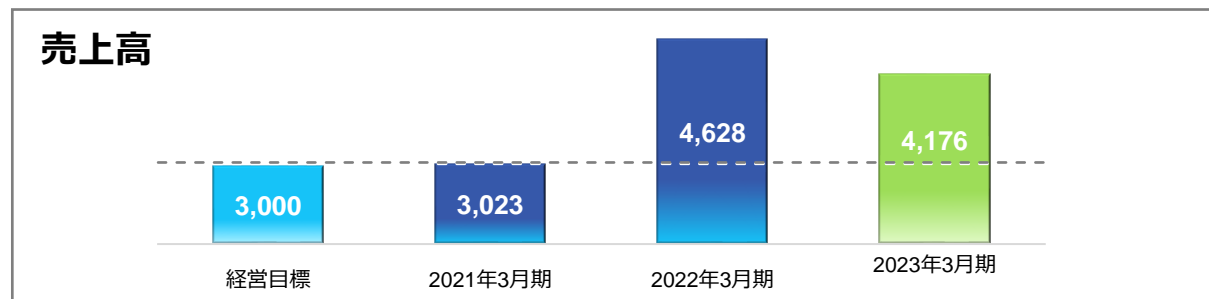


2022年3月期は巣ごもり需要やデータセンター投資の活性化等の特需により大きく成長。

2023年3月期は市況悪化や在庫調整等により苦戦も、円安もあり3年を通じ大幅に達成する結果となった。

経営目標

売上高	3,000億円
当期利益	安定的に 30億円
ROE	安定的に 8%を目指す



取り組みテーマと成果

次期テーマ

ビジネスモデル 変革

- ・マーケティング機能強化
 - ①マーケティングチーム設置、組織化
 - ②顧客、技術、品質サービスの情報共有
- ・DX推進

- ・蓄積したデータ、ノウハウの活用
- ・DX2.0領域の取り組み加速

人材育成・ 働き方改革

- ・EDL発足による若手人材育成
- ・サステナビリティ推進委員会傘下に
人的資本WG発足

- ・人材育成を強化
- ・多様性の確保
- ・方針、指標・目標、施策検討

コンプライアンス・ ガバナンス

- ・サステナビリティ推進委員会傘下に
人権WG発足
- ・社外取締役増員

- ・方針、指標・目標、施策検討
- ・サプライヤー対応
- ・ガバナンス体制の高度化

ポジティブ

ネガティブ

外部環境

- DX・GX関連の需要は堅調に推移、拡大基調
- BtoC関連需要も2023年下期に緩やかに回復
- 車載半導体市場は2桁成長
- 中国のゼロコロナ政策終了により市場回復加速

- 物価・金利上昇、円安等の経済成長への影響
- 巣ごもり需要・データセンター投資の一服感から半導体市場の急速な減速・在庫調整局面
- 米中貿易摩擦の影響で、中国の半導体需要に不透明感

内部環境

- 当社注力分野であるサーバー・ストレージ、車載等の市場成長と販売チャネル
- 安定的な収益・キャッシュを獲得する事業基盤
- 環境面に配慮した製品取扱いは社会貢献に

- 中国販売比率が高い構造
- 外部環境に左右されやすい事業モデル

新中計策定にあたり、次世代を担うメンバーを選抜し当社ミッション・ビジョンの見直しを実施

MISSION

先端技術の提供とグローバルなパートナーシップを通じて、
顧客・社会の^{いま}現在と、ひとつ先の未来に貢献します

VISION

価値を創造し続け、常に選ばれるエレクトロニクス商社

- 多様なニーズや課題に応え、ステークホルダーから信頼される存在になる
- 取引先との強固なリレーションを軸にグローバルなサービス網を構築、展開する
- 環境に配慮したデバイスの提供を通じて持続可能な社会づくりへ貢献する
- 働きやすい環境の中で、個を高め、チームとして結束する

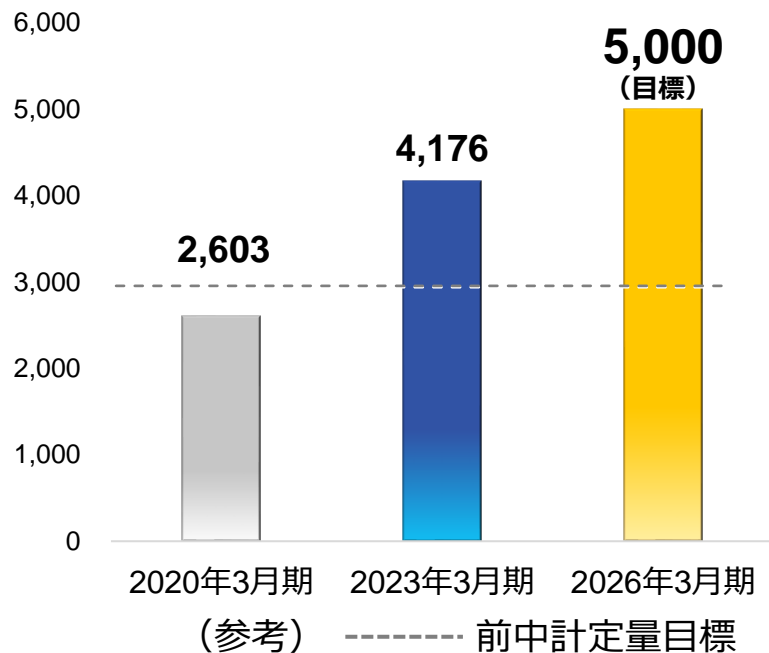


売上高

経営目標

5,000 億円

単位：億円

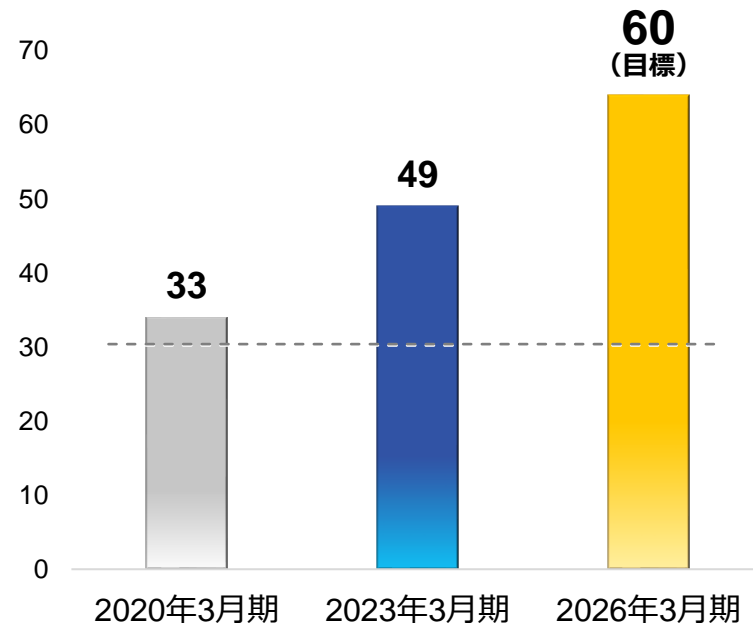


当期利益

経営目標

安定的に **60** 億円

単位：億円

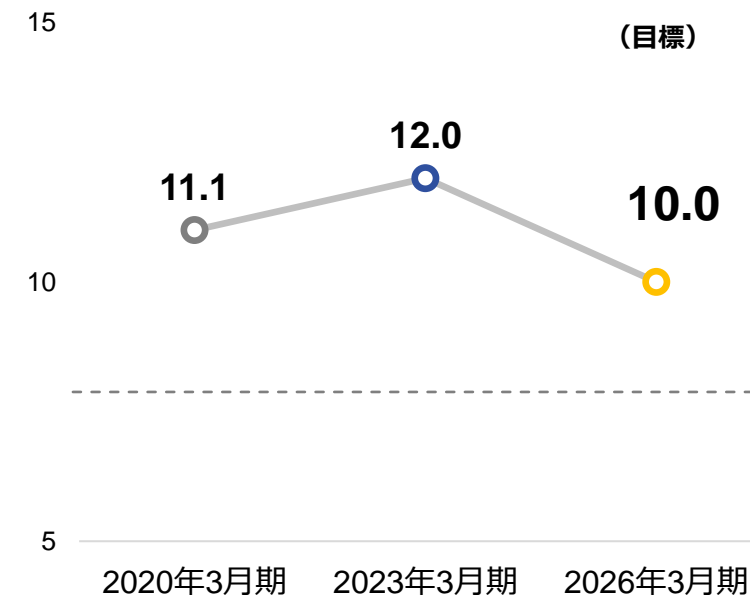


ROE

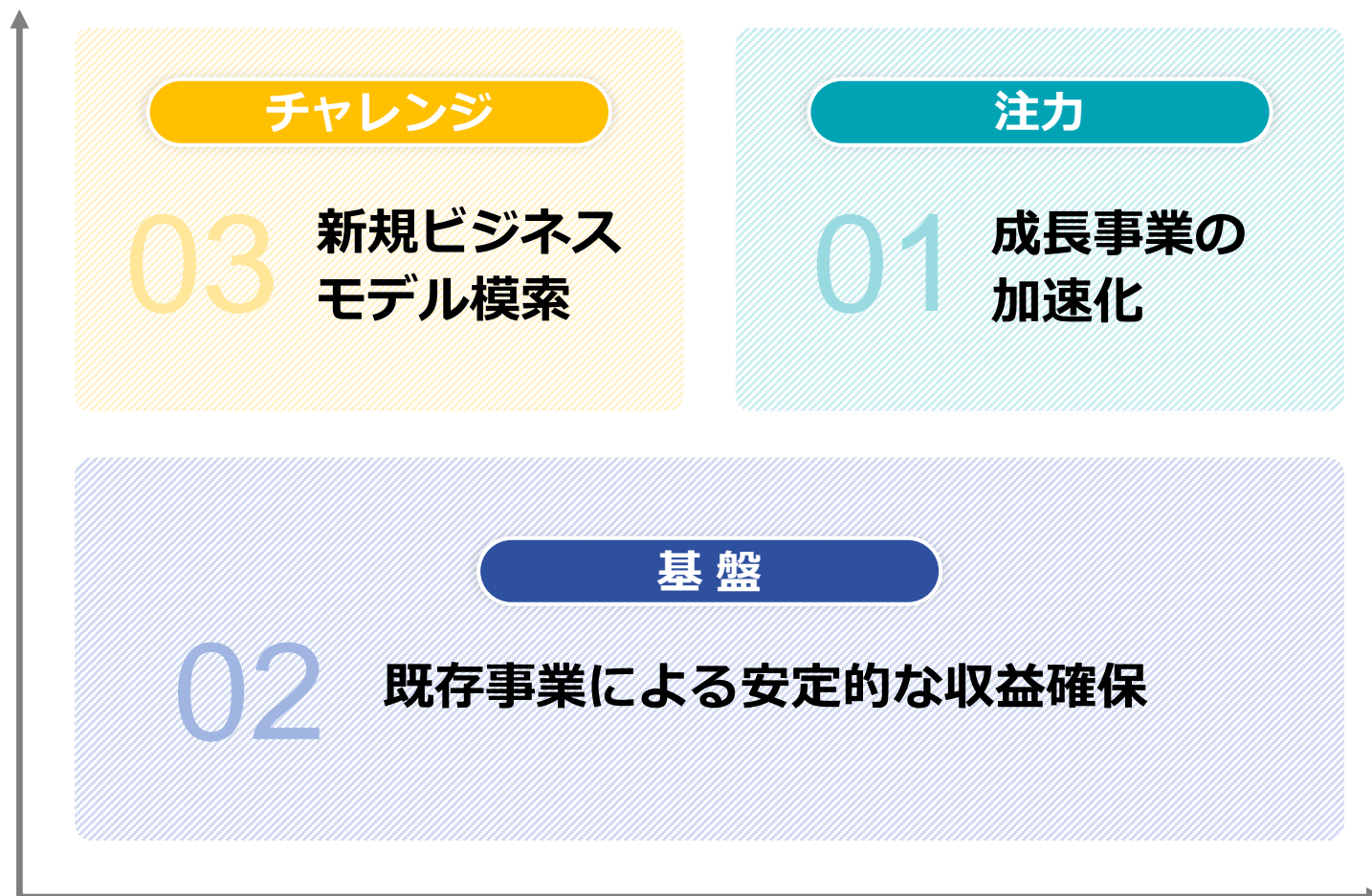
経営目標

安定的に **10%** を目指す

単位：%



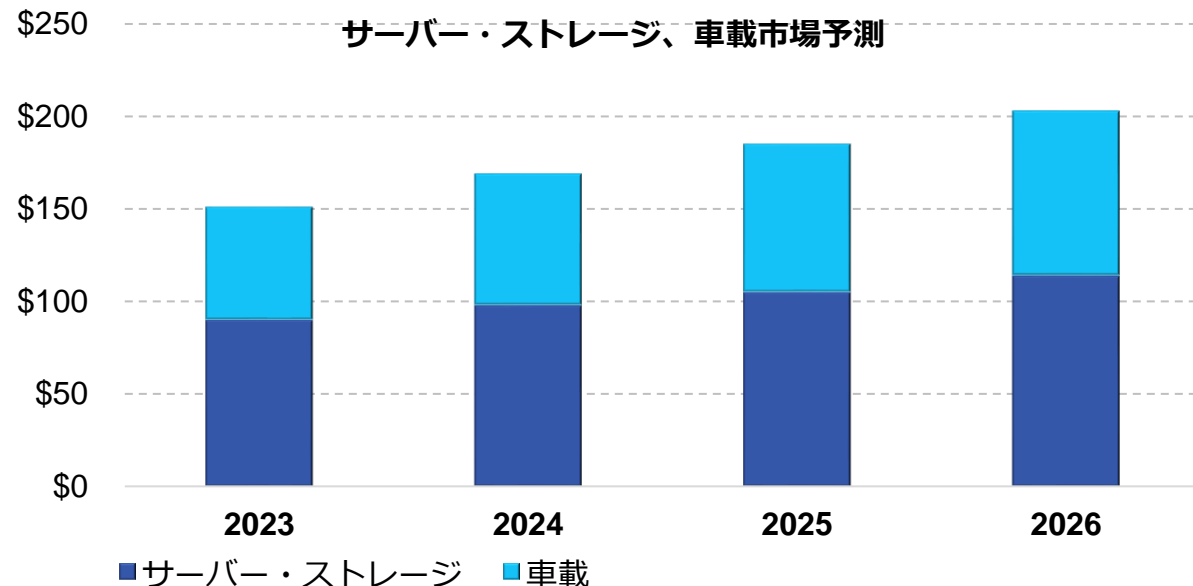
それぞれの領域に対し戦略を策定しポートフォリオ経営を実践
(ヒト・モノ・カネの適切なリソース配分)



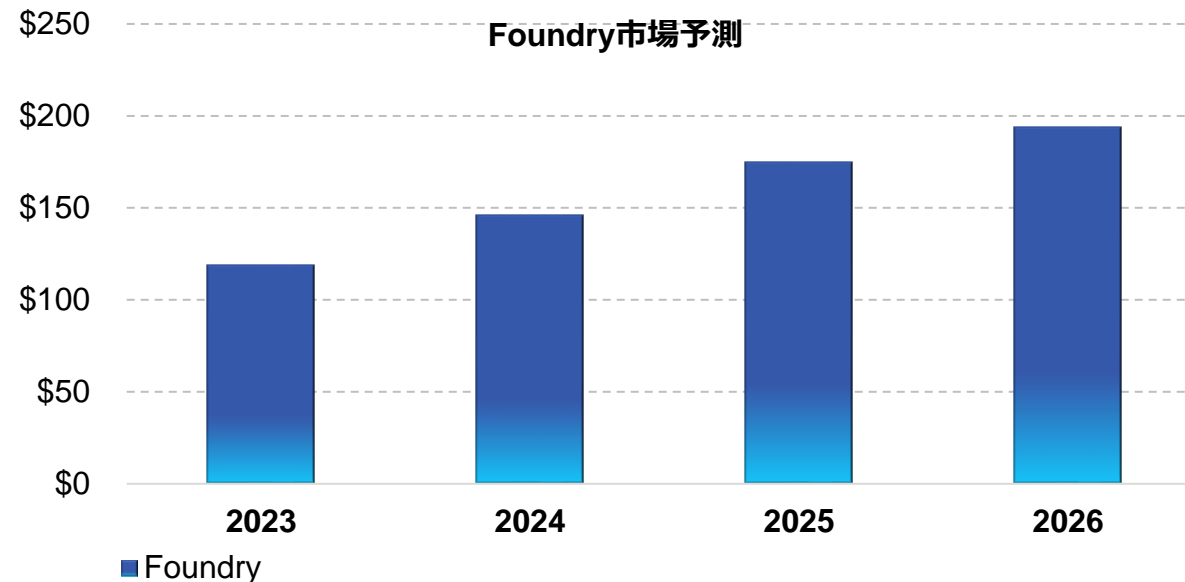
- 注力事業**
 - サーバー・ストレージ
 - 車載
 - Foundry/ASIC
- 基盤事業**
 - 携帯
 - PC
 - TVその他家電他
- チャレンジ**
 - 新規商材と事業機会の発掘
(検討会の開催、顧客への提案)

アプリ	製品	機能・取り組み
サーバー・ストレージ	メモリー (DRAM、NAND、SSD)	<ul style="list-style-type: none"> EMS/ODM関係強化 (台湾事務所設立)
車載	メモリー、SoC、MLCC、LED、OLED	<ul style="list-style-type: none"> 品質対応強化による基盤整備 FAE採用 地域対応
Foundry/ASIC	SYSTEM-LSI	<ul style="list-style-type: none"> 人員増強

単位：\$B



単位：\$B



当社グループは各種方針の制定や委員会の設置などの体制を整え、環境・社会問題の解決に向け目標を掲げて持続可能な社会の実現に向け、サステナビリティ経営を実践しています。



■ 各種方針策定



■ 気候変動に関する取り組み



当社グループは各種方針の制定や委員会の設置などの体制を整え、環境・社会問題の解決に向け目標を掲げて持続可能な社会の実現に向け、サステナビリティ経営を実践しています。

<p>気候変動</p>	<ul style="list-style-type: none"> 低消費電力のメモリー半導体製品の販売や提案により、省電力化および効率化に貢献 最先端、高品質、高性能で安全性の高い車載型半導体製品を提供することでグローバル社会へ貢献 		<p>サステナビリティ経営の推進</p> <p>脱炭素社会への貢献</p>
<p>人的資本</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロフェッショナル人材を育成するための仕組みづくりを推進 		<p>人財力の最大化</p>
<p>多様性</p>	<ul style="list-style-type: none"> D&I推進（女性、外国人、中途採用の管理職の登用） 柔軟な働き方の推進（育児、介護、在宅勤務制度など各種制度の充実） 		<p>働き方、ワークライフバランスの推進</p>
<p>人権</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人権を尊重し、人を育て、活かし、「社会に貢献する人づくり」への積極的な取り組み 		
<p>責任ある調達</p>	<ul style="list-style-type: none"> 豊田通商グループ「サプライチェーン・サステナビリティ行動指針」の実践 		



ご清聴ありがとうございました